

平成28年度  
王滝村総合戦略評価報告書



平成29年1月

# 目 次

I	「玉滝村総合戦略」の評価について	1
1	趣旨	1
2	玉滝村総合戦略の進捗状況の概要	1
(1)	基本目標の進捗状況	1
(2)	重要業績評価指標（K P I）の進捗状況	2
II	玉滝村総合戦略の基本方針	2
III	各指標の進捗状況	3
1	【くらし】	3
(1)	美しい山林と水源地としての清流の景観維持	3
(2)	火山災害をはじめ安全安心な災害対策	5
(3)	安全なくらし	6
2	【移住・交流】	9
(1)	幸せを感じる村づくりによる移住促進	9
(2)	下流域地域など交流の一層の充実	10
3	【産業】	11
(1)	観光資源の活用による地域振興	11
(2)	自然エネルギーの活用による雇用創出	13
(3)	地域に根ざした産業の振興	14
4	【子育て・福祉】	15
(1)	子育てにやさしい村づくり	15
(2)	教育環境の充実	15
(3)	高齢者が安心して過ごせる村	16
(4)	生きがいをもって暮らせる村	17

## I 「王滝村総合戦略」の評価について

### 1 趣旨

「王滝村総合戦略」を着実に推進するため、その進捗について評価し、今後の施策や事業の改善に活用します。

基本目標（数値目標）及び重要業績評価指標（K P I）の進捗状況を客観的に把握し、外部の視点も確保して評価を行い、村民に公表します。

### 2 王滝村総合戦略の進捗状況の概要

王滝村総合戦略の1年目である平成27年度の施策に係る基本目標（数値目標）及び重要業績評価指標（K P I）の進捗状況の概要は以下のとおりです。

#### (1) 基本目標の進捗状況

5つの基本目標に掲げた6つの数値目標について、計画最終年度である平成31年度の目標達成に向けた進捗状況を「順調」、「概ね順調」、「努力を要する」の3段階で評価しました。

その結果、6指標のうち「順調」はなく、1指標は「概ね順調」、5指標は「努力を要する」となりました。

基本目標	指標及び目標値	実績値	進捗状況
1 出生数	平成27年～平成31年出生数 27人 (H22～H31年出生数13人)	3人	努力を要する
2 社会移動増減	平成27年～平成31年社会移動数 △40人 (H22～H26年社会移動数△50人)	△7人	概ね順調
3 観光地延利用者数・観光消費額	観光地延利用者数 平成31年 320千人 (平成26年 273千人)	116千人	努力を要する
	観光消費額 平成31年 13.8億円 (平成26年 11.7億円)	5.1億円	努力を要する
4 公共交通機関利用者数	公共交通利用者数 平成31年度 2,000人 (平成26年度 1,120人)	1,022人	努力を要する
5 健康な人の割合	高齢者に占める要介護者の割合 平成31年 減少 (平成26年 9.3%)	9.8%	努力を要する

#### (2) 重要業績評価指標（K P I）の進捗状況

40の重要業績評価指標（K P I）について、基本目標と同様に3段階で評価しました。

その結果、全指標の67.5%に当たる27の指標で「順調」または「概ね順調」、22.5%にあたる9の指標で「努力を要する」となりました。

基本方針	順調	概ね順調	努力を要する	実績値なし	計
1 暮らし (公共交通機関利用者数)	1 2 (70.6)	0 (0.0)	5 (29.4)	0 (0.0)	1 7 (100.0)
2 移住・交流 (社会移動増減)	4 (80.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	5 (100.0)
3 産業 (観光地延利用者数・観光消費額)	3 (33.3)	1 (11.1)	0 (0.0)	2 (22.2)	9 (100.0)
4 子育て・福祉 (出生数、健康な人の割合)	6 (66.7)	1 (11.1)	0 (0.0)	2 (22.2)	9 (100.0)
計 (%)	2 5 (62.5)	2 (5.0)	9 (22.5)	4 (10.0)	4 0 (100.0)

※指標の数には重複した指標を含みます。

※端数処理のため合計が 100.0 にならない場合もあります。

#### 【進捗区分】

- 順調 : 20%以上の進捗
- 概ね順調 : 15%以上 20%未満の進捗
- 努力を要する : 15%未満の進捗
- 実績値なし : 実績値がない又は把握できない

## II 王滝村総合戦略の基本方針

### 1 【暮らし】安全・安心な暮らしを守り、王滝村の特性を生かした村づくりを進めます

95%が山林の村として源流域の豊かな自然を未来へ引き継ぎ、また御嶽山の麓に位置する村として防災対策を推進し、安全安心な暮らしを築きます。

### 2 【移住・交流】村の特性を活かした移住・交流を進めます

村の自然やアウトドアスポーツなどの体験を通じた王滝村のファンづくりを進めテレワーカ一など村外から人を呼び込むとともに、下流域交流を一層促進し村の活気を創出します。

### 3 【産業】新たな産業や観光振興による村内の雇用の創出を図ります

新エネルギーの活用による産業立地や村の資源を最大限活用することによる観光振興などを通じて村内での雇創出します。

### 4 【子育て・福祉】子育て環境の整備を促進し子どもの声が響き渡る村をつくります

子育てを地域が見守り子育てがし易い環境を通じて子育てに優しい村を実現するとともに、若者などの結婚や出産、子育ての希望を叶え、子どもの声が至る所で聞こえるような村づくりを進めます。

### Ⅲ 各指標の進捗状況

#### 1 【くらし】安全・安心なくらしを守り、王滝村の特性を生かした村づくりを進めます

##### (1) 美しい山林と水源地としての清流の景観維持

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
ごみ排出量の抑制	目標値	t						247
	実績値		258	248				
	進捗区分			順調				
	【備考】 木曾クリーンセンターにおける 王滝村分の粗大ごみ、不燃ごみ、 可燃ごみの年間処理量 [長期振興計画での平成32年度 目標値を踏まえた数値を目標]	主な施策	・ 広報誌等を活用した啓発活動					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	村民にごみの排出を抑制する意識が浸透してきており、ごみの排出量は計画以上に減少し順調に進捗しています。 引き続き、村民の意識醸成のための啓発に努めます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
リサイクルの推進	目標値	t						63
	実績値		58	66				
	進捗区分			順調				
	【備考】 木曾クリーンセンターにおける 王滝村分の資源ごみ回収量及び 学校における資源ごみ回収量 [長期振興計画での平成32年度 目標値を踏まえた数値を目標]	主な施策	・ 広報誌等を活用した啓発活動					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	村民に資源ごみをリサイクルする意識が浸透してきており、資源ごみの回収量は目標以上となり順調に進捗しています。 引き続き、一過性のものにならないよう啓発に努めます。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
企業団体との連携	目標値	件						6
	実績値		5	5				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年度末における水源の森パート ナー協定締結件数 [水源の森パートナー協定を結 ぶ団体を更に1団体増やすこと を目標]	主な施策	・ 水源の森パートナー事業					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	パートナー協定の締結件数は維持しており順調に推移しています。 下流域市町とのふれあい交流などあらゆる機会を捉えてパートナーになっていただける団体の募集に努めます。						

指 標 名	年度	単位	基準値 (H27年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
下流域市町とのふれあい交流	目標値	回						34
	実績値		31	39				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年間（年度）の王滝村での役場を介した下流域市町との交流事業の回数 [下流域からの交流事業での来村回数を基準値から1割程度増やすことが目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のバトン事業</li> <li>・下流域市町等の森林整備</li> <li>・水源の森パートナー事業</li> </ul>					
	進捗状況の分析及び今後の取組	御嶽山噴火災害の影響もあり、交流回数 39 回と予想を上回る状況となっています。 現在の交流が途切れることのないよう努めていきます。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
上下水道の整備	目標値	%						現状維持
	実績値		99.8	99.8				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年度末時点における上水道普及率 [普及率を維持することが目標]	主な施策	・水道施設の維持管理					
	進捗状況の分析及び今後の取組	普及率は現状維持されており順調に推移しています。 引き続き、施設の維持管理に万全を期し、安全な水の供給に努めていきます。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
行政関係電気使用量	目標値	KWh						757,200
	実績値		826,000	838,425				
	進捗区分			努力を要する				
	【備考】 年間（年度）の村有施設電気使用量（村負担分） [長期振興計画の平成32年度目標値を踏まえた数値を目標]	主な施策	・役場庁舎における不必要な照明の消灯の実践					
	進捗状況の分析及び今後の取組	滝越トイレの新設、田ノ原観光施設の通年使用等に伴い前年を超える電気使用量となっている。 公共施設における必要最小限の照明の使用に加え、LED化に取り組んでいきます。						

(2) 火山災害をはじめ安全安心な災害対策

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>防災・観光アプリケーションの利用者数</b>  <b>【備考】</b> 年度末におけるスマートフォン用防災・観光アプリケーションの登録者数 [年間 1,000 人程度の登録者を目標]	目標値	人						5,000
	実績値		—	450				
	進捗区分			努力を要する				
	主な施策	・防災・観光アプリケーションの構築						
進捗状況の分析及び今後の取組	アプリケーション構築初年度ということもあり、認知不足等により登録者数は目標値に届いていない。 御嶽山登山に向けてあらゆる機会を捉えてアプリケーションの周知に努めていきます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>消防団人数 (機能別団員を含む)</b>  <b>【備考】</b> 年度末における消防団員（機能別団員を含む）の数 [基準値の1割減程度を目標]	目標値	人						70
	実績値		78	78				
	進捗区分			順調				
	主な施策	・消防団員、機能別消防団員への勧誘活動						
進捗状況の分析及び今後の取組	消防団員数は、前年度と同数と順調に推移しています。 今後も消防団員の減少が見込まれるため、引き続き新入団員、機能別消防団員の勧誘に努めるとともに、定年の引上げについても検討します。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>自主防災組織の育成</b>  <b>【備考】</b> 年度末における自主防災組織の組織数 [村内の約半数の地区で自主防災組織を組織することを目標]	目標値	団体						5
	実績値		2	3				
	進捗区分			順調				
	主な施策	・自主防災組織の定期訓練への消防団員の派遣、指導						
進捗状況の分析及び今後の取組	自主防災組織は3団体と順調に推移しています。 行政連絡員会議等の機会を利用して、自主防災組織の設置を依頼してまいります。							

(3) 安全なくらし

指 標 名	年度	単位	基準値 (H27.11 末)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
交通死亡事故ゼロ記録 の更新  【備考】 年度末における交通死亡事故ゼロの期間 [交通死亡事故ゼロの期間が続くことが目標]	目標値	日						更新
	実績値		10,765	10,887				
	進捗区分			順調				
	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の街頭指導</li> <li>・学校交通安全教室の開催</li> </ul>						
進捗状況の分析 及び今後の取組	交通死亡事故ゼロの期間が引き続いており順調に推移しています。継続した街頭指導、交通安全教室の実施により、引き続き交通安全意識の継続に取り組みます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
消費者被害  【備考】 消費者被害として役場に報告等がされた件数 [0 件を維持することが目標]	目標値	件						維持
	実績値		0	0				
	進捗区分			順調				
	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発資料の作成・配布</li> <li>・郡内での発生事例の情報提供</li> </ul>						
進捗状況の分析 及び今後の取組	継続的な啓蒙活動により平成 27 年度においても被害報告は受けておらず順調に推移しています。引き続き、啓発資料の作成・配布、郡内での発生事例の迅速な情報提供に努めていきます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
村内巡回バス台数の増  【備考】 年度末における巡回バスの運行台数 [巡回バスの運行台数を 2 台にすることが目標]	目標値	台						2
	実績値		2	1				
	進捗区分			順調				
	主な施策	—						
進捗状況の分析 及び今後の取組	平成 28 年度車両導入、29 年度 2 台体制運行の計画としており、順調に推移しています。平成 29 年度から 2 台運行体制となるよう取り組んでいきます。							



指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>村道改良率</b>  <b>【備考】</b> 年度末における村道の改良率 [長期振興計画での平成32年度 目標値を踏まえた数値を目標]	目標値	%						45.4
	実績値		42.0	41.8				
	進捗区分			努力を要する				
	主な施策	・村道41号線道路改良						
進捗状況の分析 及び今後の取組	村道41号線の道路改良は平成29年度で完了する予定です。 今後は、道路の維持、防災を重点に取り組むとともに、村道のあり方について検討を行っていきます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>村道舗装率</b>  <b>【備考】</b> 年度末における村道の舗装率 [長期振興計画での平成32年度 目標値を踏まえた数値を目標]	目標値	%						58.6
	実績値		56.0	55.8				
	進捗区分			努力を要する				
	主な施策	・舗装の維持管理						
進捗状況の分析 及び今後の取組	現時点では、舗装の維持管理に努めています。 今後は、予算を踏まえながら、必要な個所への道路舗装に努めるとともに、村道のあり方について検討を行っていきます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>通信環境の広帯域化</b>  <b>【備考】</b> 年度末における広域連合が整備 しているインターネット回線の 通信速度 [光ケーブルの一般的な通信速 度である100Mbpsを目標]	目標値	Mbps						100
	実績値		30	30				
	進捗区分			努力を要する				
	主な施策	—						
進捗状況の分析 及び今後の取組	整備には多額の費用が掛かるため、国庫補助の動向も踏まえなが ら、広域連合を中心に検討を始めていきます。							

指 標 名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>公共等施設の耐震化</b>  <b>【備考】</b> 年度末における非耐震施設の数 [5年間で2施設の耐震化を実施することを目標]	目標値	施設						10
	実績値		12	12				
	進捗区分			順調				
	主な施策	—						
進捗状況の分析 及び今後の取組	平成 28 年度に策定予定の王滝村耐震改修促進計画の更新版に基づき、王滝村公共施設等総合管理計画推進委員会（仮称）において施設の優先順位付けを行ったうえで、耐震化に取り掛かる予定にしています。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>王滝村公共施設総合管理計画</b>  <b>【備考】</b> 当該年度における王滝村公共施設等総合管理計画の策定状況 [王滝村公共施設等総合管理計画の策定が目標]	目標値							策定
	実績値		—	未策定				
	進捗区分			順調				
	主な施策	・村有施設財産台帳の整備						
進捗状況の分析 及び今後の取組	すべての村有施設の財産台帳の整備が終了し、計画策定に向け順調に推移しています。 平成 28 年度に王滝村公共施設等総合管理計画を策定しました。							

## 2 【移住・交流】村の特性を活かした移住・交流を進めます

### (1) 幸せを感じる村づくりによる移住促進

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
テレワーカー等行政関 与の移住	目標値	人						5
	実績値		—	1				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年度末時点のテレワーカー等行政 関与による移住者の数 [年間 1 人程度の移住者を目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィスとなる施設の整備</li> <li>・「おうたき寺子屋」の開設</li> <li>・地域おこし協力隊員の採用</li> </ul>					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	ギークハウス信州王滝の開設によりテレワーカー 1 人が移住し順 調に推移しています。 引き続き、テレワークの推進、地域おこし協力隊の定住サポートの 取組により移住者の確保に努めていきます。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
地域おこし協力隊員の 採用	目標値	人						15(累計)
	実績値		5(累計)	8(累計)				
	進捗区分			順調				
	【備考】 地域おこし協力隊員の累計採用 数 [毎年 2 名程度の採用を目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員の採用</li> </ul>					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	平成 27 年度にも 3 名の隊員を採用し順調に推移しています。 地域おこし協力隊員への定住サポートの取組を引き続き行うとと もに地域の活性化に向けて地域おこし協力隊の採用を進めていきま す。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
サポートによる結婚	目標値	組						1 以上
	実績値		—	0				
	進捗区分			努力を要する				
	【備考】 年度における行政、関係機関が 関与した婚姻の数 [行政、関係機関が関与した婚姻 が成立することを目標]	主な施策	—					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	個人情報の保護の観点から行政によるサポートのあり方につ いて、他町村での取組などを調査研究し、取組方法を検討してい きます。						

(2) 下流域地域など交流の一層の充実

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
ふるさと村民数	目標値	人						350
	実績値		119	240				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年度末におけるふるさと村民登録者数 [ふるさと村民登録者数が3倍程度になることが目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村HPでの周知</li> <li>・下流域市町との交流での制度周知</li> </ul>					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	制度初年度である平成26年度の2倍程度に登録者数が増加し、順調に推移しています。 ふるさと村民地域づくりアドバイザーの知恵を借り、更なる下流域などとの交流促進に努めながら、村の応援団である「ふるさと村民」への登録に繋がっていきます。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H27年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
下流域市町とのふれあい交流〔再掲〕	目標値	回						34
	実績値		31	39				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年間（年度）の王滝村での役場を介した下流域市町との交流事業の回数 [下流域からの交流事業での来村回数を基準値から1割程度増やすことが目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のボタン事業</li> <li>・下流域市町等の森林整備</li> <li>・水源の森パートナー事業</li> </ul>					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	御嶽山噴火災害の影響もあり、交流回数39回と予想を上回る状況となっています。 現在の交流が途切れることのないよう努めていきます。						

### 3【産業】新たな産業や観光振興による村内の雇用の創出を図ります

#### (1) 観光資源の活用による地域振興

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
観光地利用者延数 (宿泊者)	目標値	人						83,200
	実績値		71,000	27,200				
	進捗区分			努力を要する				
	【備考】 県観光地利用者統計調査における年間宿泊数 [年間2,500泊程度の増を目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌーツアーの実施</li> <li>・県外者向けプレミアム商品券の発行</li> <li>・復興対策キャンペーンの実施</li> </ul>					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	<p>御嶽山噴火の影響による入山規制や風評被害等により観光客の入達は激減しています。</p> <p>御岳山登山以外の観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げ、情報発信に努めるとともに、ツアー商品の造成に着手します。</p>						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
ツアーガイドの養成	目標値	人						10(累計)
	実績値		5	7(累計)				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年度末におけるアウトドアに関するガイドの養成数 [年間1人程度のガイドの養成を目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌーツアーガイドの養成</li> </ul>					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	<p>カヌーツアーガイドの養成は精力的に実施しており順調に進んでいる。</p> <p>今後は、他分野のガイドの養成にも取り組んでいきます。</p>						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
御岳湖カヌー利用者数	目標値	人						1,000
	実績値		140	658				
	進捗区分			順調				
	【備考】 御岳湖カヌーツアーの年度利用者数 [一月平均150人程度の利用を目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ、雑誌、HP、イベントを活用した広告宣伝</li> <li>・インターネット予約サービス</li> <li>・ふるさと旅行券の活用</li> </ul>					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	<p>カヌーツアーの本格実施により利用者数は順調に伸びています。</p> <p>引き続き、主カッターとしてキャンペーンのタイアップなどの誘客活動に取り組んでいきます。</p>						

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>スポーツ合宿受入団体・来村者数</b>  <b>【備考】</b> 年度における村有施設利用団体数及び施設利用者の延数 [年1団体程度の増を目標]	目標値	団体						15(700)
	実績値	(人)	9(500)	10(475)				
	進捗区分			概ね順調				
	主な施策	—						
進捗状況の分析 及び今後の取組	団体数は1団体増えたが滞在日数等の関係により利用者延数は減少しています。 合宿誘致に積極的な施設の支援とともに、王滝村の資源を合宿誘致に繋げるための研究を進めていきます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
<b>観光路線バスの運行期間拡大</b>  <b>【備考】</b> 観光路線バスの年間運行期間 [年間運行期間を拡大することが目標]	目標値	日						運行期間の増
	実績値		夏・秋 (108)	夏・秋 (71)				
	進捗区分			努力を要する				
	主な施策	—						
進捗状況の分析 及び今後の取組	平成26年9月の御嶽山噴火災害の影響により平成28年度まで運行期間を短縮しています。 御嶽山の噴火警戒レベルの状況を踏まえながら運行期間の検討を行います。							

(2) 自然エネルギーの活用による雇用創出

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
<b>新たな雇用創出</b>  <b>【備考】</b> 年度末における木質バイオマス等自然エネルギーの活用に伴った雇用者の数 [自然エネルギーの活用を雇用につなげ、雇用者が30人になることが目標]	目標値	人						30
	実績値		—	—				
	進捗区分			実績値なし				
	主な施策	—						
進捗状況の分析及び今後の取組	自然エネルギーの活用による雇用創出については、研究を始めたばかりのものであるため今回は実績値なしとします。 王滝村の自然を生かし、木質バイオマスの活用について研究を進めていきます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
<b>年間木材搬出量</b>  <b>【備考】</b> 年間（年度）の村内における木材搬出量 [村内における木材搬出量を5倍程度にすることが目標]	目標値	m <sup>3</sup>						500
	実績値		110	220				
	進捗区分			順調				
	主な施策	・搬出コスト削減のための作業路網の整備						
進捗状況の分析及び今後の取組	作業路網の整備により木材の搬出量は順調に推移しています。 木質バイオマスの活用を推進することにより搬出材の利用率が向上するよう取り組んでいきます。							

(3) 地域に根ざした産業の振興

指 標 名	年度	単位	基準値 (H24 年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
卸・小売業の年間商品 販売額(1 人当たり年間 商品販売額)	目標値	万円						毎年1%の向上
	実績値		1,026	—				
	進捗区分			実績値なし				
	【備考】 経済センサス又は商業統計速報 での王滝村の卸・小売業の年間 商品販売額（1人当たり年間商 品販売額） [毎年1%向上することを目標]	主な施策	・プレミアム商品券の発行					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	経済センサスは5年毎、商業統計速報はセンサスの2年後に実施さ れるため、平成27年度については算定が不可能なため実績値なしと します。 引き続き、村内の消費喚起に資する施策を実施していきます。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26 年度)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標 (H31 年度)
遊休農地面積	目標値	ha						11
	実績値		13	15				
	進捗区分			努力を要する				
	【備考】 年度末における遊休農地面積 [遊休農地を15%程度減少させ ることを目標]	主な施策	・省力化農産物の掘り起こし ・王滝かぶ等特産作物の作付け誘導及び維持					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	高齢化による耕作放棄に歯止めがかからない状況となっています。 新たな担い手の確保に向けて取り組んでいきます。						



#### 4【子育て・福祉】子育て環境の整備を促進し子どもの声が響き渡る村をつくります

##### (1) 子育てにやさしい村づくり

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
ファミリーサポートシステムの構築  【備考】 ファミリーサポートシステムの構築の状況 [地域での相互扶助による子どもの一時預かりサービスであるファミリーサポートシステムを構築することが目標]	目標値							実現
	実績値		—	—				
	進捗区分			実績値なし				
	主な施策	—						
進捗状況の分析及び今後の取組	ファミリーサポートシステムの構築については、研究を始めたばかりであるので、今回は実績値なしとします。 平成 29 年度中にシステムを構築することを目標に、これから「子ども・子育て支援会議」の中で制度設計を検討していきます。							
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
郊外学習塾の開設  【備考】 年度末における村内の郊外学習塾の設置数 [子供たちがその持てる力をより伸ばそうとする意欲を高めることができる施設の設置を目標]	目標値	箇所						1
	実績値		—	1				
	進捗区分			順調				
	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おうたき寺子屋」の開設</li> <li>・「学校法人信学会」と連携した遠隔教育</li> </ul>						
進捗状況の分析及び今後の取組	信学会と協定を結び同会のバックアップのもと「おうたき寺子屋」を開設することができ、ひとまず目標を達成することができました。 今後は、中学生を対象にした信学会コンテンツを活用した授業は、受講者からは好評であったことから、高校生も視野に入れた取組を実施していきます。							

##### (2) 教育環境の充実

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
タブレット端末の整備  【備考】 年度末における中学校でのタブレット端末の整備数 [中学生が各々に自分の課題に応じた学習ができるよう 1 人 1 台配置することを目標]	目標値	台						1 人 1 台
	実績値		3	3				
	進捗区分			順調				
	主な施策	・個人学習や調べ学習でのタブレット端末の活用						
進捗状況の分析及び今後の取組	平成 30 年度までの購入計画を策定し、タブレット端末の整備に関しては順調に推移しています。 現時点での予定では、平成 29 年度中には目標である中学生 1 人 1 台の配置が完了します。							

(3) 高齢者等が安心して過ごせる村

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
医療施設(内科・外科) の維持	目標値	人						維持
	実績値		1	1				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年度末における村診療所の医師 の数 [村診療所の維持を目標]	主な施策	・常勤医師の雇用					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	常勤医師1名を確保できているため、村診療所が維持され、順調に 運営されている。 引き続き常勤医師の確保に努めていきます。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
医療施設(歯科)の維持	目標値	人						維持
	実績値		1	1				
	進捗区分			順調				
	【備考】 年度末における村歯科診療所の 歯科医師の数 [村歯科診療所の維持を目標]	主な施策	・JAとの歯科医師派遣委託					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	JAと歯科医師の週2日派遣を委託契約していることから、村歯科診 療所が維持され、順調に運営されている。 引き続き、歯科診療所が維持できるよう努めていきます。						
指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
特定健診受診率	目標値	%						60.0
	実績値		36.8	42.1				
	進捗区分			順調				
	【備考】 村民の当該年度における特定健 診の受診率 [厚生労働省の特定健康診査等 基本指針における市町村国保の 目標値を目標]	主な施策	・受診対象者への個別案内の送付					
	進捗状況の分析 及び今後の取組	対象者へ個別に案内を出すなどの取組により受診率は順調に推移 しています。 更なる受診率向上に向けて、健診機会の拡充、周知等を検討します。						

指 標 名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
生活習慣病による死亡 者数	目標値	人						減少
	実績値		11	—				
	進捗区分			実績値なし				
【備考】 年度における村民の生活習慣病 を起因とする死亡者数 [生活習慣病を起因とする死亡 者数が減少することを目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定検診結果返却会の村内各地での実施</li> <li>・健康づくり教室の実施</li> </ul>						
	進捗状況の分析 及び今後の取組	<p>生活習慣病による死亡者数については、厚生労働省に使用許可の申請中のため実績値なしとします。</p> <p>特定検診の結果や医療費等の分析により、初期段階で生活習慣の見直しができるよう取り組んでいきます。</p>						

#### (4) 生きがいをもって暮らせる村

指 標 名	年度	単位	基準値 (H25年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
何らかの学習活動に従 事する割合	目標値	%						43.6
	実績値		28.8	30.9				
	進捗区分			概ね順調				
【備考】 当該年度における公民館活動及 び地域づくり実践活動に参加し た村民の割合 [当該割合を平成 45 年度までに 100%とする計画に対する平成 31 年度の進捗率を目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動及び地域づくり実践活動への参加促進</li> <li>・公民館まつり及び村民運動会等、村民総参画による諸行事の推進</li> <li>・地域間交流事業への参加促進</li> </ul>						
	進捗状況の分析 及び今後の取組	<p>公民館活動及び地域づくり実践活動に参加した村民の割合は、参加促進の取組により順調に推移しています。</p> <p>より多くの村民に活動への参加を促すため、公民館のみならず関係機関との連携を推進するとともに村民参画による地域づくりに繋がるよう取り組んでいきます。</p>						

指 標 名	年度	単位	基準値 (H25年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
学びの成果を村づくりに 生かす活動に従事す る割合	目標値	%						30.1
	実績値		13.4	17.2				
	進捗区分			順調				
【備考】 当該年度における育成活動、スポ ーツ活動、公民館活動で指導的 役割に従事した村民の割合 [当該割合を平成 45 年度までに 60%とする計画に対する平成 31 年 度の進捗率を目標]	主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室推進事業を通じた子どもの活動及び家庭教育支援の推進</li> <li>・スポーツ活動における指導者の育成</li> <li>・公民館活動及び地域活動における実践指導</li> </ul>						
	進捗状況の分析 及び今後の取組	<p>育成活動、スポーツ活動、公民館活動で指導的役割に従事した村民の割合は、指導者等育成の取組により順調に推移しています。</p> <p>引き続き、指導者養成などの人材育成に取り組みながら学びの成果を地域の活性化に生かす活動を進めます。</p>						